



グローバルセンターだより

Glocal Center



地域と大学を繋ぐグローバルセンター

「グローバルで 授業と両立 ボランティア つながる地域 エンジョイライフ」「放課後に あれこれ聞いて 知る倉吉 グローカルセンター 感謝しかない」これらは鳥取看護大学1年生が作ってくれた短歌です。令和4年度も地域と大学を繋ぐべく爆走してきましたが、それが少しはできたかなとうれしく思いました。主役は学生、そして地域のみなさんです！一緒にレッツエンジョイライフ！



～学生応援！～倉吉駅周辺カフェマップ完成！

5月に行われた、倉吉市長と鳥取看護大学・鳥取短期大学の学生の「市長と“はなし”しゅいや」という意見交換会の中で、「列車の待ち時間にレポートを書いたりできるカフェが欲しい」「一から作ることは難しいけれど、駅周辺にあるお店を紹介できるマップを作って情報を発信しよう」という意見から、両大学の学生有志9人が集まり、カフェマップ製作委員会を立ち上げました。会議をかさね、掲載する店舗の選定、取材、製作とすべて学生たちが行いました。製作の過程で、スタンプラリーもやりたい、HPも作りたい、公共交通機関の情報も入れよう、と内容はどんどん充実しこの度10店舗を掲載したカフェマップが完成しました。そして2月3日（金）には倉吉駅で松本駅長に学生たちが直接手渡しました。大学だけでなく、中部地区の高校や市内各所への配布も始まっており、このマップを活用することで、学生生活がより豊かに、地域はもっと元気になることを期待しています。



これからも学生たちが地域の良さを再発見できるような取り組みを行っていききたいと思います。

学生と教員と一緒に地域貢献しています！

～令和4年度鳥取看護大学・鳥取短期大学地域研究・活動推進事業～

鳥取看護大学の小石准教授（公衆衛生学）、鳥取短期大学幼児教育保育学科の近藤教授（レクリエーション学）、山川助教（音楽教育学）が、フレイル予防を目的とした倉吉市小鴨シニアクラブ協議会の体操づくりに参画しています。

昭和40年代から小鴨小学校の運動会等で踊られている「小鴨音頭」に山川助教が、新たに追加された3番の歌詞を組み入れた楽譜を作成するとともに、地域のコーラスグループに歌唱指導を行いました。また、新たに作成された3番に、近藤教授が学生とともにフレイル予防の体操を完成させ、学生をモデルに普及教材となるDVDも作成しました。

今後も、“地域をキャンパスに！”教員の専門性を地域貢献、学生教育、人材養成へと活かしていきます。



フードドライブで学生に笑顔を！

令和3年度に続いて、食品ロスの削減と有効利用のための活動「フードドライブ事業」に参加しました。この事業は、各家庭で使いきれない、また余っている未使用食品を持ち寄り、必要としている個人や福祉団体等に配布するもので、鳥取県生活協同組合が鳥取県と連携して取り組んでいます。

本学では10月26日（水）～27日（木）に食品を持ち寄り、10月28日（金）に鳥取県生活協同組合倉吉支部に持ち込みました。また、12月14日（水）には鳥取県生活協同組合を通じて地域から届けられた食品を鳥取看護大学と鳥取短期大学の学生に無料配布しました。ご協力に対する感謝の気持ちと学生の笑顔に心癒されながら、今後もこの活動に取り組んでいきたいと思っています。



倉吉にいなから、海外を身近に！

English Café (ハロウィン)

10月26日(水)、第2回English Caféを開催し、毎年恒例行事としてかぼちゃのランタン「Jack-o'-Lantern」を製作しました。固いかぼちゃを切るには強い腕力が必要で、学生たちは苦戦しながらも、個性豊かな表情のランタンを製作していました。

最後に完成したランタンにキャンドルを灯し、明かりを消した教室で、ハロウィンの雰囲気を楽しみました。



サント・トーマス大学WEB交流会



11月18日(金)、鳥取看護大学では、学術協定を結んでいるサント・トーマス大学(フィリピン・マニラ市)とWeb交流会を開催しました。海外の生活や看護に興味を持ち、国際社会の中で活躍する人材の育成に繋げることを目的として、国際交流委員会が企画しました。

学生たちは、鳥取県や学生生活の紹介とともにCOVID-19による生活の変化などをプレゼンにまとめて発表し、その後、お互いにゲームを出題して盛り上がりました。はじめは英語力の不安を抱えた学生たちも、会の進行とともにジェスチャーを交えながら積極的にコミュニケーションを図り、参加者からは「とても楽しかった」「次の交流会にも参加したい」「これからもっと英語を勉強したいと思った」などの声が聞かれ、異文化への理解とともに学習意欲への刺激を得る時間となりました。

くらよし国際交流フェスティバル2022

11月20日(日)、「くらよし国際交流フェスティバル2022」が伯耆しあわせの郷にて3年ぶりに開催されました。国際文化交流学科の学生が実行委員長を務め、企画や運営に携わり、当日の司会も担当しました。

生活学科食物栄養専攻の学生は、大山乳業農業協同組合と共同開発した「りんごとおいものクリーム大福」を販売し、幼児教育保育学科2年生羽根田特別研究生は「うたのおにいさんおねえさんスマイルコンサート」を披露するなど、多方面にわたり活躍しました。

当日は約1,000人の来場者を迎え、食べ物ブースを中心にとてにぎやかなイベントとなりました。



韓国を知ろう！楽しもう！



12月13日(火)、付属図書館本館にて非常勤講師の齊木恭子先生をお招きし、「韓国を知ろう！楽しもう！」を開催しました。

韓国の絵本、音楽、楽器についての紹介の後、「すごろく」に似た「ユンノリ」という伝統的なゲームに挑戦したり、折り紙で伝統衣装のチマ・チョゴリを製作したりと、韓国の遊びや文化に触れるひとときを過ごしました。

イベント終了後、参加者からは「楽しみながら学ぶことができた」「今日のイベントをとおして、韓国について知ることができてよかった」「文字や言葉も覚えてみたい」等の感想が寄せられました。

「りんごとおいものクリーム大福」ができました！

～鳥取短期大学生生活学科食物栄養専攻×大山乳業農業協同組合共同開発！～



鳥取短期大学生生活学科食物栄養専攻は、本専攻で行っている地域の食材をまるごと活用する『とりたん食材まるごと活用プロジェクト』をきっかけに、「白バラ牛乳」でおなじみの大山乳業農業協同組合とともに、出荷することのできない鳥取県産の規格外品のりんごとさつまいもを使用したスイーツの開発に取り組みました。

さつまいもを使った「あん」と、りんご・大山乳業生クリームを使った「りんごクリーム」を、お餅で包んだこの大福は、令和4年10月より中・四国地区のローソンで先行発売、その後スーパーなどでも販売され、好評を博しました。SDGsを意識したこの新しいスイーツは、試食していただいた倉吉市の広田一恭市長より、「百点満点の味！」とコメントをいただきました！

とっとりプラットフォーム5+α ～他の教育機関・団体等と一緒に～



島根県立古代出雲歴史博物館・竹中大工道具館に行ってきました！

～美術館フィールド活用支援事業～

とっとりプラットフォーム5+αで取り組んでいる「県立美術館のサポート・活用」事業として、学生による関連施設の現場研修を行いました。

9月16日（金）に、鳥取県立美術館の設計者である建築家 榎 文彦氏が設計を手掛けた島根県立古代出雲歴史博物館へ、米子工業高等専門学校、鳥取短期大学の学生・教員他19名で、また、10月21日（金）には鳥取県立美術館の施工者である竹中工務店が運営する竹中大工道具館に、鳥取大学、公立鳥取環境大学、鳥取短期大学の学生・教員他31名で訪問しました。いずれも学芸員による丁寧な解説をいただき、学生たちは熱心に見学していました。コロナ禍で昨年度は実施できませんでしたが、今年度は建築を学ぶ県内4つの高等教育機関の学生たちに対する研修として行うことができました。ご協力いただきましたみなさま、ありがとうございました。

異分野連携防災研修会『いま、防災について考える』

とっとりプラットフォーム5+αの取り組み課題のひとつである「地域リスクマネジメント体制の強化」を目指し、12月3日（土）に、鳥取短期大学とりたんホールにおいて『HUG（避難所運営ゲーム）』をツールとした「異分野連携防災研修会」を実施しました。

当日は、鳥取看護大学・鳥取短期大学 消防防災サークルToCoToN FASTのメンバーと、鳥取短期大学生生活学科住居・デザイン専攻2年生が参加。鳥取県立厚生病院、鳥取県中部総合事務所倉吉保健所、湯梨浜町消防団（羽合）、（一社）鳥取県建築士会の専門分野の講師を招いて、シグナスホールの体育館を避難所に想定し実践的な避難所運営について考えました。

ペット連れや障害をお持ちの方など多様な避難者にどう対応するか、必要物資の配置や確保の優先順位など、平時からシミュレーションしておくことの重要性を改めて認識する機会となりました。



鳥取短期大学生生活学科住居・デザイン専攻 / 地域に発進！



「駅ナカ・アートプロジェクト」& 「学習成果展示会」を開催！！

10月16日（日）「倉吉ばえん祭」が3年ぶりに開催され、第10回を記念して企画された「駅ナカ・アートプロジェクト」において、10月8日（土）～10月23日（日）の約2週間、倉吉駅構内の空き広告パネルを利用して、本専攻の学生の作品のうち、県展、市展などの受賞作を中心に38点を展示しました。

また、8月～9月には、「島根県民会館」と「とりぎん文化会館」において、計17日間「住居・デザイン専攻学習成果展示会」を開催しました。こちらは県展、市展の受賞作やコンペ、コンテスト等の受賞作品のほか、授業で制作した街の模型やガラスのランプシェードなど学生の日頃の成果を展示し、期間中大変多くの方が足を運んでくださいました。中には、「作品のレベルが高くて驚いた」「2年間でこんなに学べてOUTPUTできるものなのかと関心した」などの感想もいただき、盛況のうちに終える事ができました。

「1日の半分の野菜（175g）がとれる

カラダに優しいお弁当」が完成！

～鳥取短期大学生生活学科×マルイ共同開発！～

鳥取短期大学生生活学科は、昨年度より株式会社マルイと食育弁当の共同開発に取り組んでおり、その第2弾「まんてん野菜弁当」が現在、鳥取県、島根県、岡山県のマルイ全店で販売されています。食物栄養専攻の学生達は、このお弁当を仕上げるにあたり、マルイの担当の方から、食べやすい切り方、彩りなどについてアドバイスをいただきながら、野菜が多いだけでなく見栄えよく満足感のある弁当になるよう、試作検討を何度も重ね完成させました。

今回も、弁当名やパッケージシール、POP広告は、住居・デザイン専攻の学生が手掛けています。学生たちの想いの詰まったお弁当は今後、第3弾も開発予定です。店頭で見かけられたら、ぜひご賞味ください！



『農業体験ボランティアツアー』に参加して、鳥取を知る！

両大学の学生たちは、JAグループ鳥取農業労働力支援協議会、鳥取県農林水産部のご協力のもと、鳥取県中部の『地産地消』や『地域産業』をより身近に感じるため、「農業」、「食」、「観光資源」を連続して学んでいます。

10月8日(土)、22日(土)には、琴浦町内のミニトマト生産農家に伺い、収穫や出荷作業、生産者・労働力の確保の現状をお聞きしながら、収穫のお手伝いをしました。収穫後には、琴浦町の「鳴り石カフェ」で腕を振っておられる西永智行シェフに、収穫したミニトマトを使った「ナポリタン」と「カプレーゼ」の作り方を教えていただき、トマトに大満足の時間を過ごし、料理講習後は、琴浦町の『神崎神社』、『鳴り石の浜』をめぐり、観光や自然についての学びも深めました。

2月11日(土)、18日(土)には、北栄町の北栄ドリーム農場へ伺い、いちごの栽培ハウス内の管理や「紅ほっぺ」収穫の作業を行った後、県オリジナル品種「とっておき」誕生の地でもある鳥取県園芸試験場の見学を行い、鳥取県の農業の取組みについて学びました。

今後も学生たちは、地域の方々にさまざまなことを教えていただきながら経験を積み重ね、地域に貢献できる人材となれるよう成長し続けます！



令和4年度鳥取看護大学・鳥取短期大学公開講座を開催しました

令和4年度の鳥取看護大学・鳥取短期大学公開講座(主催:倉吉市)は、「ポストコロナ時代の新しい生活様式でいきいきと～かわるもの、かわらないもの～」と題して、令和4年6月から9月の間に全5回開催しました。途中、新型コロナウイルス感染拡大を受けて日程を変更した回もありましたが、全て対面式で行い、のべ275名の方にご参加いただきました。

鳥取看護大学・鳥取短期大学では、引き続き地域のみなさまにより良い学びを提供できるよう、さまざまなテーマで講座を開催してまいりますので、たくさんの方のご参加をお待ちしております。



倉吉市立高城小学校4年生が絣美術館を見学しました

12月2日(金)、倉吉市立高城小学校4年生16名が、鳥取短期大学絣美術館を訪れました。この見学会は、社会科の授業「地域に伝わる伝統工芸、倉吉絣」の学習の中で、倉吉絣を実際に見て、ふるさとの伝統工芸に親しむことを目的として企画されたものです。絣美術館の吉田館長から、絣の歴史や絣ができるまでの制作工程、絣が生活の中でどのように使用されてきたかなどの説明を聞き、展示されている絣作品を見学しました。また、実際の機織りの様子を見学し、織り方の説明なども受けました。倉吉の伝統工芸「倉吉絣」や、その伝統を受け継いでいこうという人たちがいることを知ってもらうよい機会となりました。



鳥取短期大学 「絣研究室」修了作品展

倉吉絣の保存と後継者の育成を目的とする「絣研究室」研究生の作品展で、着物、袋物、テーブルセンターなどを展示します。

- 期間 令和5年3月24日(金)
～3月26日(日)
午前10時～午後5時
- 会場 倉吉博物館
第4展示室(倉吉市仲ノ町)

令和5年度絣研究生募集

伝統工芸「倉吉絣」の技術を習得する社会人向けの養成講座です。糸の扱い方から機織りの工程まで、ひとつおりの技術を1年間学び、修了作品として各自がデザインしたよこ絣の着尺を織り上げます。

- 講師 吉田公之介さん(鳥取短期大学絣美術館館長)
- 定員 10人程度
- 講習期間 令和5年4月～令和6年3月
- 開講日 毎週火・木曜日 午前9時半～午後4時半
- 募集期間 3月31日(金) ※必着

※募集要項はホームページに掲載しています。

お問い合わせ先 鳥取看護大学・鳥取短期大学 グローカルセンター
TEL 0858-27-0107 FAX 0858-26-9138

